



2020年8月17日
損害保険ジャパン株式会社
Airbnb Japan 株式会社

損保ジャパンと Airbnb、住宅宿泊事業専用保険（新「日本ホスト保険」）を 共同開発し、ホストはさらに安心して住宅宿泊事業が可能に ～地域社会に根ざした住宅宿泊事業の拡大を目指して～

損害保険ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）は、世界最大級の旅行コミュニティプラットフォームの Airbnb（本社：米国カリフォルニア州サンフランシスコ、以下「Airbnb」、日本語名：エアビーアンドビー）と共同で、2018年7月から提供している「日本ホスト保険」について、ホストの皆さまの声をふまえて従来の保険から補償内容を拡充した全く新しい、新「日本ホスト保険」を開発しました。本保険により、Airbnbを利用するホストの皆さまはより安心して住宅宿泊事業を行うことができます。損保ジャパンが Airbnb のような旅行コミュニティプラットフォームの特性を踏まえた保険を開発するのは初めてとなります。本保険プログラムの開発にあたっては、保険仲介とリスクマネジメントの世界的リーディングカンパニーであるマーシュの協力を得ました。

1. 背景

Airbnb は、2008年に米国で創業、現在は世界 220 以上の国と地域の約 10 万以上の都市に宿泊が可能で、さまざまな地域コミュニティとの触れ合いや、旅行先で現地の文化とつながるユニークな旅行体験を提供することで「暮らすように旅をする世界」の実現を目指しています。

損保ジャパンは拡大するホームシェアビジネスについて、損害保険事業を中心として、デジタル技術の活用や SOMPO グループのグループ会社間連携によるトータルサポートにより、地域や社会が抱える課題に適切に対応し、「安心・安全・健康」な社会の実現を目指しています。

損保ジャパンと Airbnb は、さまざまな商品やサービスの開発・提供による住宅宿泊事業の普及・拡大およびシェアリングエコノミーの発展を通じた社会的課題の解決を目的に、2017年12月に包括業務提携を締結しました。本包括提携に伴い、損保ジャパンは 2018年7月から、Airbnb のホストの皆さま向けに住宅宿泊事業に起因する賠償事故を補償する「日本ホスト保険」を提供し、ホストの皆さまの安全・安心な住宅宿泊事業の運営に貢献しています。

このたび、住宅宿泊事業の普及が進む日本市場において、Airbnb のホストの皆さまのニーズを踏まえて、より安心して事業運営ができるよう、住宅宿泊事業で想定されるトラブルにより発生する損失を総合的に補償する専用の保険を共同開発しました。

2. 概要

新たに開発した「日本ホスト保険」は、ホストの皆さまから寄せいただいた要望と日本における住宅宿泊事業の実態などをふまえ、住宅宿泊事業によるトラブルにより発生する損失を包括的に補償し、ホストからの保険金請求を円滑に行うことができるホスト補償制度です。

■新旧「日本ホスト保険」の主な違い

| | 旧「日本ホスト保険」 | 新「日本ホスト保険」 |
|-----------------|------------------|-------------|
| ゲストによるホストの財物の損壊 | ゲストによる保険請求手続きが必要 | ホストで保険請求が完結 |
| 上記以外の補償 | ホストで保険請求が完結 | ホストで保険請求が完結 |

3. 今後について

損保ジャパンと Airbnb は、本保険の提供を通じて、新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けながらも、今後も成長が見込まれる住宅宿泊事業をサポートし、その普及・拡大を後押ししていきます。

以上

(ご参考)

Airbnb (エアビーアンドビー) について

Airbnb は、さまざまな旅のニーズに合わせて選べるユニークな宿泊先や旅先の魅力を体験できるユニークなアクティビティが集まった世界最大級のマーケットプレイスです。世界各国で現地ホストによる 700 万件以上の宿泊先、40,000 件以上のオリジナリティ溢れる体験を提供しています。人々の経済的自立を影で支える Airbnb は、空いているお部屋や好きなことを仕事にする世界数百万人のホスピタリティ起業家を支え、観光による地域振興に貢献してきました。宿泊利用は創業以来通算 7.5 億人を超え、220 の国と地域、62 の対応言語で今日もまた新たな出会いが生まれています。Airbnb は世界中の人々をつなぎ、コミュニティと信頼を育むカンパニーです。

<https://airbnb.jp>

※「Airbnb」「エアビーアンドビー」「エアビー」の各名称およびロゴは Airbnb Inc. の登録商標です。